

【デュアルシステム科・工業科目】

各教科・科目		標準 単位 数	1 年次 (令和 7 年度入学生)			2 年次 (令和 6 年度入学生)			3 年次 (令和 5 年度入学生)		
			必修	学校必修	自由選択	必修	学校必修	自由選択	必修	学校必修	自由選択
工業	工業技術基礎	3～4		4 (16)							
	課題研究	3～4								3 (4)	
	実習	6～12					3 (5)			3 (4)	
	製図	2～8									
	工業情報数理	2～4		3 (10)							
	機械設計	4～8						2 (1) ⑧			2 (1) ⑧
	電気回路	4～6						2 (1) ⑨			2 (1) ⑨
	電気機器	4～6									
	電力技術	4～6									
	基礎演習	2									
	インターンシップ	2									
	工業実践基礎	4					4 (4)				
	工業実践応用	8					4 (4)			4 (4)	
	工業実践発展	4								4 (4)	
	機械演習	0～2						2 (1) ⑧			
	電気演習	0～2						2 (1) ⑨			
	経営マネジメント入門	1								1 (1)	
専門教科・科目単位数計			7			15			17		
総合的な探究の時間			0			0			0		
自立活動			0～1			0			0		
ホームルーム活動			1			1			1		
生徒一人当たりの履修単位数計			34～40			31～32			30～39		

【デュアルシステム科の習熟度別授業・少人数指導授業等】

習熟度別授業	(1) 1 年次「英語コミュニケーションⅠ」(3 単位)、2 年次、3 年次「英語コミュニケーションⅡ」(2 単位)は2 展開の習熟度別授業。 (2) 1, 2 年次の「数学Ⅰ」(2 単位)は2 展開の習熟度別授業。
少人数指導授業	(1) 言語文化 (2 単位)は1 クラス2 展開で実施。 (2) 体育(1 年次: 3 単位、2 年次: 2 単位、3 年次: 2 単位) 1 年次: 1 クラス2 展開 2 年次: 1 クラス2 展開 3 年次: 工業科とデュアルシステム科を併せて、2 クラス3 展開×2+1 クラス2 展開=8 講座 (3) 「働くこと生きること (1 単位)」は、ティームティーチング。 (4) 工業: 工業技術基礎(4 単位)、課題研究(3 単位)及び実習科目は、1 クラス3～5 展開 工業情報数理(2 単位(プロダクトのみ3 単位))、機械製図(2～3 単位)、自動車製図(2 単位) 2, 3 年次の学校必修の自動車工学(2 単位)、 電気回路(1 年3 単位)、電気製図(2 単位)、電子回路(2 単位)、 デザイン製図(2 単位)、デザイン実践(2 年2 単位及び3 年2 単位)、 デザイン材料(2 年2 単位及び3 年2 単位)、は1 クラス2 展開
備考	(1) 1 単位時間は45 分とする。 (2) 卒業認定修得単位数は、74 単位である。 (3) 2 年次より次の「コース」のいずれかを選択する。 ⑧機械コース、⑨電気コース (講座数)の右⑧、⑨は、それぞれのコース別科目であることを指す。 (4) 「情報Ⅰ」(2 単位)は、1 年「工業情報数理」(2 単位)によって代替履修する。 (5) 「総合的な探究の時間」は(3 単位)、3 年「課題研究」(3 単位)によって代替履修する。 (6) ★は在京外国人等対象生徒教科科目。週時程外の放課後に設置する。 (7) 「論理国語」は2 年次(2 単位)及び3 年次(2 単位)の4 単位、数学Ⅰは1 年次(2 単位)及び2 年次(2 単位)の4 単位、「英語コミュニケーションⅡ」は2 年次(2 単位)及び3 年次(2 単位)をの4 単位もって、科目の履修とする。 (8) 論理国語は現代の国語及び言語文化を履修した後に履修させる。 (9) 数学A を履修する場合は、数学Ⅰと並行してあるいは数学Ⅰを履修した後に履修させる。 (10) 外国語の科目において、Ⅱを付した科目はそれぞれに対応するⅠを付した科目の履修後に履修させる。 (11) 日本語理解については、1 年次の修得者に対して日本語検定3 級取得には1 単位、2 級以上取得には2 単位の増加単位修得を卒業時に認める。 (12) 特別的教育課程(日本語指導)は指導の対象の生徒のみ実施する。 (13) 自立活動は、通級による指導の対象生徒のみ実施する。